



2023 年度第1回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 2023 年 4 月 22 日(土) 13:00~17:30

開催場所 静岡県栄養士会事務局 および WEB

出席役員 ○出席 ×欠席 ○W WEB 出席

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		地域		
氏名	新井	久保田	若林	松島	戸田	日置	塚本	三浦	篠原	池谷	森平	白石
出欠	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○W	○
職域事業部	地域		勤労		医療				福祉			
氏名	青島	栗原	森下	山崎	鈴木	渡邊美	渡邊潤	中村	太田	田森	杉山	柳澤
出欠	○	○W	○	○	○	○W	○W	○	×	○	○W	○
監事	関	梅木										
出欠	○W	○W										

開 会 定刻に至ったため、久保田副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うち WEB 参加 7 名）に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、本日は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場に来ることが出来ない理事は ZOOM（WEB 会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

ZOOM（WEB 会議）システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき新井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、地域活動事業部の白石理事と青島理事が指名された。

1 会長あいさつ

2023 年度、新体制となり 2 年目に突入いたしますが、事業の企画、準備のほど、宜しくお願ひ申し上げます。併せて、静岡県栄養士会が発展するために何をすべきかについて、議論できる機会に時間を割いていきたいと思ひます。会員の声を吸い上げ、理事の意見やお考えを頂戴できればと思ひます。さて、3 月 28 日に静岡県と静栄にて、災害時における栄養・食生活支援活動に関する協定書の締結を終えて参りました。これまで先代の会長、静岡県健康増進課、静栄 DAT 委員の関係者のお力添えの賜物です。心より感謝申し上げます。本件に続いて、静岡県栄養士会として発信（広報）すべきことを見出し、適切に従事および対応して参りたいと思ひます。引き続き、宜しくお願ひ申し上げます。

2 前回議事録の確認

・2022年度第8回理事会議事録

3月31日県公益法人所轄化へ定期報告書類提出のため、全理事がメールで確認、承認済み。

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

(1)新井会長

3月8日（水）	地域包括ケア推進ネットワーク会議	ブケトーカイ 4階
3月11日（土）	静栄 DAT スタッフ育成研修会	あざれあ
3月15日（水）	静岡県アレルギー疾患医療連絡協議会	パルシェ 7階会議室
3月27日（月）	研究教育事業部運営委員会	WEB
3月28日（火）	静岡県との災害時協定の締結式	静岡県庁
4月13日（木）	賛助会員 大塚製薬との面談	静栄事務局
4月13日（木）	三役会議	静栄事務局
4月22日（土）	地区事業部、地区代表者会議	静栄事務局

(2)久保田副会長

3月7日（火）	令和4年度静岡県循環器病対策推進協議会	WEB
3月5日（水）	総務部企画調整委員会（総会担当）	WEB
3月11日（土）	静栄 DAT スタッフ育成研修会	あざれあ
4月13日（木）	内部監査	静栄事務局
4月13日（木）	三役会議	静栄事務局
4月16日（日）	広報部委員会	WEB
4月22日（土）	地区事業部、地区代表者会議	静栄事務局

(3)若林副会長

3月11日（土）	静栄 DAT スタッフ育成研修会	あざれあ
4月13日（木）	内部監査	静栄事務局
4月13日（木）	三役会議	静栄事務局
4月22日（土）	地区事業部、地区代表者会議	静栄事務局

4 報告事項

静栄 DAT（中村理事）

3月11日（土）9：00～17：00	静栄 DAT スタッフ研修報告	資料参照
17：00～18：00	研修会を終えて反省会	資料参照
3月28日（火）10：00～10：30	静岡県と静岡県栄養士会及び静岡県災害リハビリテーション支援関連団体協議会の災害に関する協定締結式開催	
10：40～11：50	県庁本館スロープ前にて JDA-DAT 号（緊急災害支援車両）公開	資料参照

4月1日（土）静岡市五番町自治会から静岡県栄養士会パッククッキングレシピ使用に関する問い合わせに対応中（4/9 現在）

(1)総務部企画調整委員会（森下理事）

2023年度第1回総務部総会担当者委員会：4月5日（水）19:00～21:00 WEB

出席者：総会担当理事、安倍事務局長

1. 定時総会開催に関する業務について（事務局長と共有）

○開催に関する事項 議決方法：全員議決権行使書提出（書面表決）もう一年継続

質疑応答方法：事前に質問票を提出 *会場に集まるようになったら、質問を受けたい。

展示：14社とする。（理事会で確認）

その場合同じ机を確保するために、あざれあから借用予約する必要あり。

○当日に関する事項 議長（出席者の中から会長が決定）、

謝辞（表彰者を事務局が抽出後、三役と相談し決定）

○準備に関する事項 5月発送物内容確認

・シナリオ：具体的に名前を入れて、三役司会者含めて確認

2. 講演について 静岡県健康福祉部医療健康局 健康増進課 課長 島村道子氏（昨年同様）

演題：「静岡県の健康課題の現状と取り組み」（仮）とし、講師に確認する。

総会課長の講演

「健康寿命をのばす健康づくりの施策 ～静岡県の取り組み～」

3. 役割分担について

定時総会分担表を新たに作成し4月理事会で提案、役割を決定する。

司会：福祉事業部（順番確認）

接待：副会長2名、講師接待：日置理事、WEB配信等：山崎理事を推薦

*山崎理事は議事録署名人の順番であるがWEB担当の為変更できないか

（順番は地域活動事業部）

・会場との事前打ち合わせ：山崎理事、会場担当者、（事務局長） *理事会後日程調整

4. アンケートについて 一昨年前のものを共有し、意見を集約し作成する

5. 総会までのスケジュール

会場との事前打ち合わせ：山崎理事、会場担当者、（事務局長） *理事会後日程調整

あざれあへ確認する事：コロナ感染症への対応、借用可能な机の数、給湯室使用、下見日程
→事務局長より確認していただく。

4/6 事務局より、あざれあに電話確認後報告あり

・机の数：昨年と同じ。2階倉庫の机は支払いが済んだ団体から貸し出し予約ができる

→支払いを済ませ、貸出予約を行った

・給湯室の利用：現時点ではお茶を淹れることは不可。5類移行後について変更があるかは

未定。

→給湯室の利用できなかつたらペットボトルで対応する。（事務局で確認）

(会長) →給湯室が利用出来たらお茶を用意し、お茶菓子も用意する。

- ・コロナ対応：国の方針と同じ対応。マスク着用は求めている。(静栄の対応を理事会で確認)
- ・下見候補日：大ホールの空き状況(4月下旬～5月中)から今後日程調整

(2) 広報部(渡邊潤理事)

○2022年度情報管理報告(広報部報告事項資料1-1～3参照)

○賛助会員のホームページバナー広告の申し込みについて(広報部報告事項資料2参照)

株式会社 Fujitaka およびトータル・ソフトウェア株式会社の2社より、フッター広告(空き枠1)掲載の申し込みがあった。3月16日18:00よりWEBにて抽選を実施した結果 Fujitaka に決定、トータル・ソフトウェア株式会社はサイドメニューCへの掲載でご了承いただいた。来年度以降もフッターへの掲載希望があるため、今後の対応について検討が必要。

(3) 地区事業部(塚本理事)

- ・4月22日(日)10時～地区代表者会議を事務所(ハイブリッド形式)で開催しました。出席者18名でした。次回は秋ごろWEB形式で開催予定です。
- ・地区研修、ブロック研修についてのアンケートの結果について(資料参照)

(4) 栄養ケア・ステーション部(杉山理事)

①栄養ケア・ステーション支部報告書様式を担当理事にて決定したので報告する(資料添付)

「支部活動報告書」20230305バージョンを20230325バージョンに変更

「出向申請書」(打ち合わせ等に出かける場合の事前申請書)新規に作成

「交通費申告書」(打ち合わせ等に出かけた際の交通費報告)新規に作成

②日栄「健康支援型配食サービスを軸とした、地域共生社会に資する食環境づくりの推進」
研修会の報告

2023年3月5日(日)13:30～15:30(静栄理事会と同時開催の為、事務局鈴木が参加)

資料添付(65ページの資料より抜粋)

- ・厚労省の健康支援型配食サービスガイドライン紹介
- ・ガイドラインのポイント
- ・健康支援型配食サービスのタイプ紹介
- ・健康支援型配食サービスの普及に向けて

※一体的実施の中で地域資源の活用と関係機関の連携により実施・普及を目指している

③2022年度第2期認定栄養ケア・ステーション申請者の審査結果

静岡県栄養士会より申請した5事業所すべて認定されました

- ・認定栄養ケア・ステーションくるみ：機能強化型認定栄養ケア・ステーションに移行
- ・認定栄養ケア・ステーションなる：機能強化型認定栄養ケア・ステーション
- ・認定栄養ケア・ステーションフォーリア：認定栄養ケア・ステーション

- ・中北薬品株式会社静岡支店認定栄養ケア・ステーション：**画**認定栄養ケア・ステーション
- ・インフィック認定栄養ケア・ステーション：**画**認定栄養ケア・ステーション

(5) 研修部（渡邊美子理事）

①2022年度生涯教育単位認定

他団体研修単位認定 ダノンフォーラム 2単位×1名

②2022年度認定管理栄養士(2023.4.1認定)

臨床栄養分野認定管理栄養士 全国 84名、静岡県 5名

(大山 実希氏、位田 文香氏、山下 亜依子氏、川上 佐和子氏、谷津倉 友美氏)

③2023年度生涯教育（基幹教育）「基本研修」及び「実務研修」eラーニングの開催について （参加勧奨方御礼）

※別添資料の通り

④生涯教育キャリアノート第4版の公開について

・4/3より「キャリアノート第4版」を日本栄養士会ホームページへ公開

<主な変更のポイント>

- ・ 認定管理栄養士、認定栄養士制度の一部要件変更
- ・ キャリアシート様式の変更
- ・ 生涯教育修了証明書制度の廃止

※詳細は、別添「キャリアノート第4版変更箇所一覧」をご参照ください。

⑤2023年度第1回生涯教育担当者会議（Web会議）の開催

- ・ 2023年5月14日（日） 13:00～15:00
- ・ 静栄事務局にて参加予定（若林副会長、中村理事、杉山理事、渡邊）
- ・ 事前アンケート（4/24までに回答）

⑥2023年度第1回研修部運営会議

・ 2023年5月14日（日） 11:00～12:00 静栄事務局

(6) 公益事業委員会（委託1、2）（池谷理事）

①営業指導センター主担当：池谷 担当；森平、白石、青島、栗原

3/15 営業指導センター打ち合わせ参加者 池谷・森平・白石

○高校生の講座：主担当：池谷 担当；森平、白石、青島、栗原

7/9 「高校生対象「健康な食事」について考える講座」

講師 日本大学短期大学部 准教授 篠原 啓子先生

○健康な食事の冊子配布事業：主担当：池谷

○飲食店対象健康な食事の講座：主担当：森平・白石・ 担当：池谷、青島、栗原

②介護予防事業：主担当 池谷 担当 栗原、青島、白石、森平

2/24 健康増進課と打ち合わせ 参加者：新井会長。若林副会長 池谷・森平・栗原

③食べるからつながる地域包括ケア推進事業：主担当：池谷担当；森平、白石、青島、栗原

2/24 健康増進課と打ち合わせ 参加者 新井会長。若林副会長 池谷・青島・栗原

④衛生課の委託事業：食品表示講習会主担当：池谷 担当：山崎

3/22 衛生課と打ち合わせ 参加者 池谷・山崎

- ・研修会3会場
- ・動画作成 ・添加物のチェック
- ▶ 研修会担当 池谷
- ▶ 動画等作成担当 山崎
- ・介護予防事業で使用するパンフレットについて、出来上がったことを報告。
HP 会員ページからダウンロード可能とする。(事業で使う場合はクリアファイルとセット)

(7) 公衆衛生事業部(日置理事)

ア 行政栄養士による活動事例の収集について

静岡県から、下記の2事例を提出した。

(市町) 掛川市：スーパーマーケットと連携した健康弁当の開発と健康応援店事業の推進
(県・政令市) 浜松市：市民に向けた野菜摂取量増加推進事業

イ 市町栄養士配置促進要望活動について

R4は実施なし

(8) 研究教育事業部(三浦理事)

①「Web 学びなおし講座 2022」の11講座の視聴期間が終了した。

1. 受講状況

- 申込者：静岡県栄養士会員 130名 (うち理事・地区代表・運営委員・事務局員は14名)
 - 視聴期間：2022/12/21～2023/3/15
 - 配信方法：Vimeo (契約 11/22～1年間)
 - 受講アンケート提出者：51名 (39.2%)
 - 1人当たりの受講講数 51名の平均：4.7講座 (最小1講座、最大10講座)
 - 11講座受講満足度 (10点満点の平均)：8.7 (238名、複数視聴あり)
- 詳細は、別紙参照。

2. 受講者アンケート結果

アンケート結果をまとめ、「感想・質問・さらに学びたいこと」については、講師10名にそれぞれフィードバックした。また、各講座への質問の中で、講座内容に直結した質問を厳選し、文書で回答をいただき、回答集を編集中である。

②「Web 学びなおし講座 2023」担当者会議

研究教育事業部理事・運営委員7名にて、「Web 学びなおし講座 2022」の受講アンケート結果を

もとに 2023 年度の実施について協議を行った。

日時：2023 年 3 月 27 日（月） 17：00～18：30 オンライン

出席者：7 名 理事 3 名（新井英一、篠原啓子、三浦綾子）

運営委員 4 名（榛葉有希、小山ゆう、鈴木知子、車塚亜咲季）

報告事項：Web 学びなおし講座 2022 の受講者アンケート結果について

協議事項：Web 学びなおし講座 2023 の実施内容について

決定事項：

- ①1 本の動画時間が長いと視聴率が低下するというので、2023 年度は 1 本 30 分程度として、単位認定希望者には、3 本組み合わせるとして 90 分程度の内容とする案でテーマを考えてみる。
- ②各講師への質問欄への対応については、質問でなく感想も含まれ、講座内容に直結しない質問も含まれていた。講師が動画内で説明した内容に関する質問に限定して、講師が受講者の講座内容を理解するために、回答必要と考えられる質問に絞り、回答書の作成を依頼することにした。11 講座の講師から回答書が出揃った段階で、受講者に配信方法を検討する。
- ③視聴日データより、視聴期間は長くしても期間の終盤に集中したことと、動画本数が多すぎて見切れなかった可能性もあるため、動画本数を厳選して少なくして、視聴期間は短くする案で進める（例として 1 か月ごとに 3 本など）。
- ④2022 年の Vimeo 契約期間であれば、2023 年以降の年間契約費も掛からないため、視聴期間も検討していく。
- ⑤テーマについては、具体的に決定できなかったため、会議後、2022 年度アンケート結果（学びたい内容）をもとに、代表者が案を作成し、引き続き、意見をまとめていくことになった。

(9) 地域活動事業部（池谷理事）

「在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ」研修会

東部会場 2023 年 8 月 27 日（日） 10:00～12:00

中部会場 2023 年 10 月 14 日（土） 10:00～13:00

西部会場 2023 年 10 月 22 日（日） 10:00～12:00

「料理写真の撮り方、SNS への掲載のコツ」研修会

9 月 2 日又は 9 日

会場：静岡県男女共同参画センター あざれあ

講師：午前の部 榎林写真事務所 フォトグラファー榎林武俊

午後の部 EL think 代表 山崎靖晃氏

2023 年度委員会、公衆栄養研究会、ブロック研修会、リーダー研修 日程

<ブロック研修会> 2023 年 10 月 28 日（土）WEB 9：30～12：30

<公衆栄養研究会> 2023 年 11 月 25 日（土）集合型 11:00 開催予定

<リーダー研修会> 2024 年 2 月 3 日（土）WEB

(10)医療事業部（鈴木理事）

- ・4月15日（土）2023年度医療職域管理栄養士・栄養士育成のための全国リーダー研修会（WEB）
鈴木・渡邊美 出席
- ・病院給食部門収支状況調査 対象施設（理事在籍施設）静岡県立こども病院、熱海所記念病院

(11)福祉事業部（田森理事）

2/25（土）福祉職域栄養士・管理栄養士育成のための全国リーダー研修会 WEB

(12)その他

①健康栄養知識普及事業について（事務局 安倍）

4月4日県健康福祉センターに案内を送付。2020～2022年度は締め切りを設けず随時受付していたが、今年度は4月末締め切りとし、空きがあれば以降随時受付とする。件数は昨年と同じ13件（2020以前は25件）。

②賛助会員の退会について

12月理事会で承認した新入会の「コンフィスト産業医事務所」について、広告予算の関係上、入会见送りを希望されたため、実際は入金なく、退会となった。

③学術部（県民調査・研究委員会）（田森理事）

ベジチェックの県への報告・栄養士会ホームページ掲載時期について
ベジチェックのアンケート実施。2000近くのアンケートが集まった。
篠原理事がまとめて日置理事へ提出済み。
静岡県栄養士会のホームページに12月までに掲載する。

④健康支援型配食サービスを軸とした、地域共生社会に資する食環境づくりの推進研修会報告
（鈴木CSコーディネータ）

65歳世帯が半数を占めている。配食を通じたフレイル対策。厚労省がガイドラインを作った。
健康支援型配食サービスのタイプは、通いの場で配食をしながら栄養教育をする。栄養教育をしたうえで、個別のアセスメントを実施する。もっと支援が必要な方を見つけて、他のサービスに繋げていく。健康支援型配食サービスの普及に向けての図のまわりにある4つのものが、普及に必要と示されている。

今年度、日栄では健康支援型配食サービスを普及していくために、研修を考えている。行政が関わっていかないと、栄養士の費用を誰が支払ってくれるのか。静岡県としても栄養士会としても厚労省がうたっているこの事業をどのように進めたら良いのかを理事が考えてもらいたい。

(会長) 理事全員が認識をしておかなければならない情報。どこの予算を使用するのか? 行政との関係性をどのようにしていくか。配食サービスのチラシも増えた。日栄の研修会を受講して、情報のアップデートをして欲しい。

5 協議事項

(1) 2023 年度事業報告及び理事会承認の件 (若林事業部長、久保田総務部長)

【配布資料; 2022 年度公益社団法人静岡県栄養士会事業報告 (案)、2022 年度収支報告書 (案)】

① 2022 年度事業報告について (若林事業部長)

2022 年度も多くの事業が行われた。

健康イベントには多くの会員に参加をいただいた点がよかった。もっと拡大をしていきたい。

後ほどの監査の報告でも説明をする。

2022 年度事業報告について、全会一致で承認された。

会の運営に関する事項は、次年度から総務からの報告とし、総務部長が説明する
他団体との連携をはじめ、職域の代表者会議などは、復命書を提出してもらっている。

② 2022 年度貸借対照表、正味財産増減計画書、財産目録について (久保田総務部長)

財務関係の報告

会員収入は会員数が微増でほぼ変わらなかった。公1よりも公2が多く、収益事業はゼロ。

前年度コロナで事業が少なかったため、旅費交通費、諸謝金が増えた。

公益社団法人は、公益事業で収益を出してはならないため、経費の比率の中で、法人会計は公益事業よりも経費が少なくなっている。

(会長) 2022 年度の決算報告書についての質問はないか?

230 万円の黒字。公益社団法人は継続して黒字を出し続けることは適切ではない。実際は、やりくりをしてその状況にした。公益社団法人は二段階収支相償がある。公益目的事業に対する会計は黒字をだしてはいけない。入会金などの 50% 以上を公益目的の会計にしなければならない。事業が 50% 以上になるようにしなければならないため、企画をした内容で予算を使わなかったことにより、50% を下回ると事業を行っていないことになってしまう。企画をした内容で予算を使い切るのが公益社団法人の会計である。公益社団法人会計にのっとって、会計処理を行っている。総会資料 P. 21 のように監査をしてもらった。

2022 年度貸借対照表、正味財産増減計画書、財産目録について、全会一致で承認された。

③ 監査報告 (4 月 13 日実施) について

監査では、記入漏れの研修会の指摘があった。新入会の支援事業の参加人数が少ないのはなぜか?

など、事業をしていて人数が少ない点や、お金がかかっている事業についてなどを指摘することが監査の内容。

(関) すばらしい事業の内容と、財産目録、会計が正しくできていることを確認いたしました。

コロナでの Web が楽で良くなってしまわないように、皆様の活躍を期待しております。
(会長)以上について承認をいただいたということで、ありがとうございます。

(2) 静栄 DAT (中村理事)

11月3日・4日に予定している静栄 DAT スタッフ研修の内容について

日栄 JDA-DAT リーダー研修の日が 11月5日(日)の予定で決定しそうなため、静栄 DAT スタッフ研修の日程を早める必要性が出てきました。(静栄 DAT スタッフ研修受講者の中からリーダー研修を受けていただくため)

10月8日(日)9日(祝・月)は現在のところ、他の研修が入っておらず、あざれあの予約が取れたため日程の変更をいたします。

3月に行った研修終了後の反省会にて公衆衛生の運営委員から要配慮者を乳児・周産期母子等とアレルギーをテーマとした場合、市町の管理栄養士の参加増が期待できるとの意見があったため、今年度の研修内容として企画をしたい。

(塚本)この日程は、県西部ではお祭りが多いため、参加者が少なくなると思う。

(会長)日程変更はなし、テーマ 要配慮者の災害支援について、全会一致で承認された。

(3) 総務部企画調整委員会 (森下理事)

6/3(土) 定時総会及び講演会開催時の担当の分担を今回の理事会で行いたい。

- ・賛助会員の展示：14社でよいか。(去年は12社)意見はあるか→なし
- ・給湯室の利用：現時点ではお茶を淹れることは不可。5類移行後の変更があるかは未定。
→昨年同様、ペットボトルで対応するのでよいか→あざれあの方針に従う
- ・コロナ対応：あざれあは国の方針と同じ対応。マスク着用は求めている。会員への案内は。
→マスクについては、国の対応と同じ。どちらの方向でも周知はしない。
- ・アンケート内容、項目等
→去年の総会アンケートと同じではなく、会員の声を聞き、今後、何を企画しなければならぬかの参考になるように、多くの研修会で共通して使えるアンケートを作成し、理事で確認、検討する
- ・弁当について 日当から差引。東海軒 昨年と同程度 お茶付き
- ・定時総会開催についての冊子参照、確認
(会長) 総会の流れについて
- ・来賓挨拶が1名増。看護協会から総会への出席依頼があった。こちらも来ていただくことにした。理事も顔を知ってもらうために、名刺交換などを。
- ・連盟総会 国会議員を招く予定
- ・休憩での賛助会員展示への誘導をする

青字はそのまま

【総会の役割分担】

議事録署名人： 森下理事 池谷理事

書記： 栗原理事 鈴木理事

司会： 福祉事業部 杉山理事

進行 タイムキーパー 司会補佐 照明： 福祉事業部 柳澤理事

Web 配信 会場音響： 山崎理事

演者のPC操作： 袖スライド操作： 松島理事 塚本理事

Zoom 入退出：渡邊美子理事

写真と報告書（会場の様子、表彰などの写真を取り、報告書 A4 1枚程度）

報告書：三浦理事 カメラ：池谷理事、三浦理事

会員受付・人数集計：中村理事 戸田理事 太田理事 白石理事

ステージ座席設営など：(三役) 渡邊潤理事

避難誘導：栗原理事 鈴木理事 森下理事 池谷理事

表彰介添えなど：渡邊潤理事

展示場設営：篠原理事 青島理事

特別講演の座長： 新井会長

議長は今後相談して決定

・あざれあの下見 5月22日午後（予備日 23日）

予算5名 森下 山崎(Web) 柳澤(照明) 新井 安倍

・はがき、質問書 差出人有効期限5月31日までにする。

・特別講演の演者講師料 交渉の段階で5万円であったため、他の研修会より高いがよいか
全員承認

(4) 広報部(渡邊潤理事)

○静岡市葵区五番町自治会より、静栄ホームページ(DAT ページ)に掲載のバッククッキングレシピについて、①防災訓練でレシピを使用したい ②レシピを自町のホームページに転載したいとの要望があった。対応案としては以下のとおり。(広報部協議事項資料1参照)

①レシピの使用は可。但し印刷をする場合は出典を明記すること。

②転載は不可。静栄 DAT のページへリンク、または、それぞれのレシピへリンクを張る。

それぞれのレシピに、栄養士会の名前と静栄HPのリンクを記載した。

県民、住民が、静栄のHPにアクセスしてもらえることはありがたい。あくまでもリンクページを渡す認識。承認

○静栄ホームページに静栄 Instagram の投稿内容を自動反映させたい。(広報部協議事項資料2参照)(山崎理事)

情報部報告で日栄、他県との比較などインスタの現状を説明。

現在、11投稿で94フォロワー

リーチ閲覧回数 一番多いもので、静岡県と災害協定は100人程度の人に見てもらっている。

栄養士会の日本一を目指す!

静栄のHPにInstagramの投稿を自動反映させたい。最新の写真が4枚載るようにする。承認された。フォロワーを増やすように声をかけていく。

(渡邊潤) 緊急案件

栄養士のおすすめメニューの募集 フレイル予防のメニューを集めたいと決めたが、もう少し細かい説明をする。高齢者に不足しがちなたんぱく質が豊富で手軽メニューとする。

5月発送に間に合うように資料を作成、6月末まで応募期間。7～8月に公開予定。

(5) 地区事業部 (塚本理事)

来年度の地区研修とブロック研修の方向性について

6月までに、三役や研修部長と相談し、方向性を決め、理事に提案していきたい。

その上で、7月の理事会で話し合いたい、そのようなスケジュール感で進めてよいか。

全員承認

(新井) 11月の地区代表者会議の前、予算を決める前に方向性を出せるようにしたい。

昨年度の地区のアンケートで理事から貴重な意見をいただいた。結果をもとに、今後のありかたを協議していきたい。

地区の持ち回り開催するブロック研修会は予算がつくので、著名な先生をお呼びすることが可能。

地区は研修会や市町のイベント開催などへも参加。 全員承認

(6) 栄養ケア・ステーション部 (杉山理事)

① 2023年度事業【交流会の開催】

開催日程：10月29日(日)に変更

② 栄養ケア・ステーション登録申請書の再配付(5月総会案内に同封)の件
新しいフォーマットでの登録をお願いする。

登録のお願い、登録の案内、登録申請書・申請書の記入例と区分が裏表 3枚セットを同封予定

(7) 研究教育事業部 (三浦理事)

(1) 「Web 学びなおし講座 2022」への質問についての回答集

2022年度受講者へ配信したいが、申込者が閲覧できるサイトにアップ可能か？

➡ WEBからダウンロードを促す形で130名に情報提供をする方向で検討する。

2023年度の申し込み者が閲覧できる時期に合わせて申込者専用サイトにアップするのがよい。

(2) 「Web 学びなおし講座 2023」について

案内文書は、近日中の発送と一緒にお願いしたい。

報告資料の受講者アンケートは提出者51名であった。このアンケートを元に、2023年度の内容を検討し、以下のものを提案する。

学びなおしより講座であったが、発展的なものを要求するアンケート回答もあった。生涯学習の研修とは目的が違い、基礎的なことを学び直すということで講座を継続する。対象は静岡県栄養士会会員限定で、新規に募集する。2022年度の申込者は料金追加なしで視聴可能とする。多くは前年度の講座をそのまま使用するが、内容を修正したいという場合は、リニューアルしてアップする予定。

1. 学びなおし講座のコンセプト：

「学びなおし講座」の意義および位置づけとして、養成校時代に学修した「基礎」を現在の業務に活かす学びなおし（業務に活かすための基礎的知識の理解と統合、最近の養成校カリキュラムの学び内容など）という内容で構成している。各職域の生涯学習研修テーマとは異なり、それぞれの業務内容の基礎と根拠を理解するための基礎教育講座の内容としている

2. 対象 静岡県栄養士会会員限定 ①2022年申込者、②新規視聴者
③新規追加講座希望者

3. 価格設定 ①視聴期間延長のため、追加料金なし
②11講座パック料金
③2023年度新規1講座料金 1000円

(安倍)

- ・ 新規の予定はどれくらいあるのか。(安倍) ➡(回答) 現在、1名(篠原講師)から希望あり。
- ・ 3種類の価格設定がある。どのような申し込みがあるのか？(安倍)
①は申し込み不要。②は申し込みが必要。③はどうなるか。単発のものが複数あった場合、確認が難しくなる。2022年の申込者が二重に振り込んでしまう可能性がないのか？
➡(決定) 複数の料金設定では、確認が混乱するため、①視聴期間延長のため、追加料金なし、②2023年度新規申し込み者3,000円(内容を修正したものが含まれる)の2種類とする。

4. 視聴期間 3か月 8月10日～11月20日
新規講座がある場合、アップ時期は①②と同じにするかは講師と相談する
Vimeo 契約期間内(Starter 2022.11.22～2023.11.21)で完了する
Vimeoの契約は更新するか否か

- ➡(決定) 11月21日で一度解約し、年度末に再契約をするのが良いのではないかと。年後末に再度、協議する。

URLの配信 8月上旬

5. 申込期間(受講料振込期間) 6月5日～7月30日まで(総会終了後から)
6. 講座振込

7月30日までの申込期間内に振り込む

振込名義は、「氏名、Rコナ、会員番号」としたが、昨年度、R(大文字)が入力しにくい？名義が13文字以上は手間がかかる？と意見あり。

7. どのようにするか？「r会員番号 氏名」はどうか？ ➡(安倍) 会員番号など入れると、通帳記帳に文字が入りきらない。事務局で認識できるのは半角で13文字まで。
➡(決定) 名前だけで入金してもらうように、案内する。

8. 受講アンケートの提出状況改善と生涯学習単位認定

- ・130名の申し込みのうち、51名からアンケート提出があったが、アンケートは全員から提出されていない。アンケート記入にて日本栄養士会生涯教育制度の認定対象としたため、単位認定を希望しない者が提出しなかった可能性がある。また、最初の受講案内メールにアンケート提出を依頼したため、アンケートの提出を忘れた可能性もある。複数見ても見なくてもよいという講座なので、提出者が少なかったのか？ それとも見ていない受講者が80名弱いたのか？が不明である。

改善策として、受講アンケートのお願いを、1か所でなく、何カ所かに記載する。

9. 受講アンケート項目

2022年度アンケート：会員番号、氏名、職域、年代、生涯教育単位を希望の有無、
受講講座名、講義内容の満足度、講義内容に関する感想、

2023年 新規追加案：上記に項目に加え、

2022年度の学びなおしを受講したか（新規カリピーターかを把握したい）

今後、学びなおし講座を継続した場合受講するか、今後学びなおし講座があった場合、学びたい基礎的な内容（今回の受講内容に限らず、自由に記入）

(会長)

昨年度はじめて実施をした。130名のうち、51名のアンケートが集まった。申し込みをしたが、視聴をしなかったという声も聞かれた。見られなかったものを見られるようにするのもよいのではないか。他の講座で説明をしているような内容の質問もあり、単発で見ている会員が多いようだ。全体を視聴してもらえるようになれば。

(三浦) 2022年度の質問回答集を提示して良いか？

→WEBからダウンロードを促す形で130名に情報提供をする方向で検討をお願いします

すべて承認された

(8)福祉事業部(田森理事)

①【前期研修会予定】

- | | | |
|-----------------|-----|----------------|
| 6/18 (日) 10:00～ | WEB | eiyou 寺子屋①児童編 |
| 7/9 (日) 10:00～ | WEB | eiyou 寺子屋②高齢編 |
| 7/23 (日) 10:00～ | WEB | eiyou 寺子屋③障がい編 |
| 6/24 (土) 14:00～ | WEB | 栄養ケアマネジメント研修会① |
| 8/6 (日) 10:00～ | WEB | 栄養ケアマネジメント研修会② |

承認された

(若林副会長) Webでの開催がある研修会は問い合わせ用携帯番号を記載してください。

入っていないところは入れるように。

→ 入れている。総会の案内は入っていないので入れる事。

②会員増対策

- ・静岡県下842施設（高齢者施設480件・認定こども園342件・障がい施設20件）への研修会

案内を手紙郵送で行う 日時：6月上旬（総会后）

（日栄の研修会も含む）

予算をとってあるので対応可能。一人職場の人に、仲間を作って欲しい。介護報酬の改定の作業をしている人から、LIFEを使用している人が少ないと聞いている。もっと普及させておかないと、次の介護報酬改定の時に困ることがあるのでは。その辺も含めて、周知をしていってほしい。

LIFEについて補足 厚生労働省にデータを提出する方法。加算をとる必要がある施設のみが使用している。強化加算。栄養ケアマネジメント加算が廃止され、条件が変わり、加算をとらないところがあり、LIFEを取り入れていない。

（会長）厚労省としては仕組みづくりをしたが、使用しないところが多いと、その仕組みが不要なものということになってしまう。しっかりとアナウンスをしていく。

（安倍） 842施設に発送をする資料はどのようなものか。（84円は4枚まで）

（田森） 福祉事業部の研修会をまとめたものと日栄の案内。4枚84円までにまとめる。

（会長） 予算の中でやっていく。事業部長として新規の参加者の把握を

(9)その他

① 職域事業部、専門部・委員会 旅費支出について（事務局 安倍）

2023年度は暫定で、職域事業部への仮払いをやめ、旅費については年3回の手渡しとすることが2022年度第7回理事会で承認された。そのため、事業部、専門部の旅費支出についてルールの見直しを図りたいので協議願いたい。（資料参照）

I 職域事業部、専門部、委員会は以下の方法で会議、研修会等の旅費を事務局に連絡する。

II 事業会計（公1公2）の旅費支出明細は理事（担当の長）が作成する。

事務局では基本的に法人会計部分（理事会、三役会議、総会等）のみ作成する。

III 各担当の長は予算を把握して執行する。

年度1部署で1ファイルを用いる。支払い漏れを防ぐため、過去のシートは残す。

IV 会議後、速やかにファイルを事務局に送信する。

事務局はまとめておき、年3回現金で支払う。受け取ったら請求印、受領印を捺す。

6月総会（4.6月分）、10月理事会（7.10月分）、3月理事会（12.1.3月分）

運営委員は年1回 振込み または 手渡し 年度末に確認することでよい。

基本的には今までと同様。

・静岡での開催は、理事に関しては、氏名だけの記入で良い。

・交通費届出書を作成した。運営委員に「直接が可能か 振り込みが良いか」を示してもらう。振り込みはゆうちょのみ（振込手数料100円は静栄負担）。書類は使用の可否は理事が決めて良い。不要な場合は使わなくて良い。ゆうちょのみという記載をわかりやすくする。

・振込が増えて、振込手数料が大きな負担となってきた場合は、再検討をする。

（会長） 支払いの作業が煩雑であるため、簡素化。アップデートをしながら良い形になっていけばよい。運営委員、専門部の方への受け取り方法の確認。2点を協議。 全員承認

②賛助会員封入手数料 内規について（事務局 安倍）

2022年11月の県立入検査で、チラシの封入手数料について、内規の様なものを策定しておくことが望ましい、という指摘を口頭で受けた。

その後、2014年に当時の賛助会員に示した封入手数料の資料があったため、この資料を加筆したものを内規としたいので協議願いたい。（資料参照）

細かい部分は変更をしていない。人によってとらえ方が違うが、冊子になっていればOK（作業として1回）重なってれば10円。束が大きいものは20円。 全員承認

③静岡県栄養ケア・ステーション リーフレット作成について（新井）

栄養ケア・ステーションと認定栄養ケア・ステーションの一覧

認定栄養ケア・ステーションを会員も知らないで、それを周知したい。会員向けのリーフレットである。会員に、栄養ケア・ステーションとは？という目的。1回目は紙ベースで作成する。

（池谷） 次年度 多職種専門職向けの栄養ケア・ステーションのチラシを作成するが、それも考慮してほしい。

（会長） これは、会員向けの仲間づくりのチラシとして作成する。

④来年度の総会日程について（事務局 安倍）

6月1日 9時、予約開始。

来年度は予約が殺到しそうなので、あらかじめ第一希望を決めて臨みたい。

事務局が考えるスケジュール

6月8日（土）か9日（日）が第1希望、6月1日（土）が第2希望

※日栄総会の15日前までに日栄代議員の総会承認が必要。

第一希望 2024年6月9日（日） 第二希望 8日（土）

⑤日本栄養改善学会への寄付について（新井会長）

今年度名古屋で開催されるが、近年企業からの資金が集まらないため、東海ブロックの栄養士会に寄付の依頼があった。

愛知、岐阜の県栄は一口30,000円を既に振り込んでいるため、静岡県も振り込みたいと考えている。

（鈴木） 他の学会もあるので、それにだけ出すのはどうかと思う。

（会長） なぜ、日本栄養改善学会か。日本栄養士会と日本栄養改善学会が同じものであったが、学術団体として独立をしたという経緯がある。だから、栄養士会にも理解をしてもらいたい。

（山崎） 学会員で静栄会員でない人への情報提供ができるなどのプラスな面があるか。

（会長） 市民公開講座は栄養士会と共催されると思うが、改善学会に入会している日栄会員は一握りだけである。ただ、歩み寄りたいたいという、学会側からの思いは感じる。

（塚本） 予算はどこからか。

（安倍） 予算にないため、予備費からになると思う。渉外費として支出する。

以前は、企業からの支援があり、このようなことはなかった。今後静岡での開催を考えていくと、

支払いをした方がよいのか？

→賛成多数により承認された。

6 承認事項（協議を経ず理事会で承認を受けたいもの）

(1) 新入会員の承認について（久保田総務部長）

新入会 26 名、再入会 6 名 32 名例年と同程度 承認

静岡県は人数が多い。会員数で、代議員の人数が決まる。静岡県 現在 7 名

(2) 顕彰候補者の推薦について

①日栄会長表彰

50 年 2 名

25 年 34 名(未納者含む)

表彰までに会費を納めないと対象ではない。

②静栄会長表彰

32 名(未納者含む)

総会までに会費を納めた会員は表彰。

未納者でも会費の納入があった時点で表彰状を送る。

(3) 研修部（渡邊美子理事）

①2023 年度研修会 月別予定一覧

各理事が内容を確認し報告をする。

敬称について、以下のルールで統一する。

医師、歯科医師→先生

そのほか全て →氏

(4) 医療事業部（鈴木理事）

医療職域情報誌 LIAISON のパイロット版が作成された。

会員のみならず非会員にも広く周知し、会員増対策の一環としたい。

今後、研修会等で掲示、配布を行っていきたい。

会員にはメールが届く予定のため、非会員が集まる研修会で、掲示、配付したい。

承認された。

(5) 研究教育事業部（三浦理事）

「Web 学びなおし講座 2022」の講師への質問回答集について、受講者へ配信することが承認された。

(6) 学術部（栄養士大会企画委員会）（戸田理事）

【2023 年度第 9 回静岡県栄養士大会について】

候補日：令和 6 年 2 月 10 日（土）

時間 : 13:30~16:30 ※午前の部をもつか要検討

実施方法 : Web およびあざれあ会場

参加目標 : 130名 (会員および非会員) ※賛助会員の参加方法を要検討

発表演題数 : 14

<第9回への引継ぎ>

- ・なるべく全ての職域より発表者を募る。
- ・Web参加者でも発表者に質問しやすい環境づくりをする。
- ・Web参加者でも会員同士が接点をもてる取り組みを行う。(例:発表会後に職域別集会を実施)
- ・静岡県栄養士会としての取り組み(活動)を発表する。

(鈴木) ハイブリッドでの開催をするのか?グループワークのハイブリットは難しいか?

(会長) Web参加者からの苦情が多く、心苦しくなる。

Web参加の人が苦情を言わなければ問題ない。今後検討することを戸田理事に伝える。

(7) 学校健康教育事業部(松島理事)

学校健康教育事業部では2023年度に全国で栄養教諭の地位向上のために「個別的な相談指導」についての研修実施を目標としている。そのため、今年度は学校健康教育事業部を対象とした研修の開催を承認していただきたい。

候補日 : 令和5年9月9日(土)

実施方法 : WEBもしくはハイブリッド

参加目標 : 25名(会員および非会員)

講師候補 : 栄養教諭・公認スポーツ栄養士 重田玲子先生(愛知県)

栄養教諭・公認スポーツ栄養士 齊藤浩二先生(新潟県)

参加目標人数が少ないのでは?栄養教諭の向上が目的であれば、栄養教諭の人数でも良いのでは?

実績がでてこなければ栄養教諭が無くなるかもしれない。増やさなければいけない。繋がりを作っていかねばならない。

9月開催では5月の封入が必須。9月9日はスポーツ栄養学会と重なっている。

→参加目標、候補日について、再検討する

(8) 5月封入の研修会案内について(池谷理事)

- ・「料理写真の撮り方、SNSへの掲載のコツ」研修会案内
- ・「高校生対象「健康な食事」について考える講座」講師養成研修会
- ・「在宅訪問栄養指導におけるスキルアップ研修会」(3回分を1枚に印刷)

→誤字脱字の確認を

7 連絡事項

(1) 会員への通知発送について

- ・5月初旬総会案内送付(完成原稿は27日午前10時まで)

総会開催通知

総会議案

研修会案内（8月頃まで）

おすすめメニュー募集チラシ

賛助会員封入チラシ

目標5月9日発送

8 その他

（日置理事より 伝言）

・「フリーランスで活躍したい管理栄養士の本」 静岡県出身 愛知淑徳大学の先生 紹介を
・静岡県食生活アンケート 市町別アンケート 大学院大学、佐々木敏先生にもかかわっていた
だいている。栄養士会の皆様も回答にご協力を、ご家族、まわりの方にもご協力をお願い。
アンケートのポスターなどの協力ができる方かたは、県の健康政策課の戸井口さんまで問い合わせを

→県から依頼があれば、総会の資料への封入も承認された

9 確認事項

(1)行事日程の確認について

(2)その他

本日の ZOOM（WEB 会議）システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以 上

出席理事

新井 英一
久保田 美保子
若林 恭子
松島 天子
塚本 ゆみ江
三浦 綾子
篠原 啓子
森下 知代
山崎 靖晃
池谷 広美
森平 教子
白石 明子
青島 千恵

栗原 理江
鈴木 恭子
渡邊 美子
渡邊 潤
中村 朱美
田森 稔浩
杉山 智子
柳澤 利哉
梅木 幹子
関 明子

出席監事

議事録作成者 白石 明子
議事録作成者 青島 千恵

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2023年4月22日
公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 新井 英一 
副会長 久保田 美保子 
副会長 若林 恭子 
監事 梅木 幹子 
監事 関 明子 